シチズンシップ共育企画

2014年度事業報告

シチズンシップ
共育企画
Planning Office for Citizenship Co-Learning
「じぶん」になる、「しみん」になる。

〒661-0965　兵庫県尼崎市次屋 1-2-20 ハイツアメニティ 2-203
Tel 070-6506-0369　E-mail info@active-citizen.jp　URL http://active-citizen.jp/

2014.1.1～2014.12.31

シチズンシップ共育企画 ミッション

「じぶん」になる、「しみん」になる。
アクティブな市民になれるために。民主的な対話を実感／実現するために。
市民的リテラシーを獲得した民主主義の担い手が育つ社会の実現のために。

シチズンシップ共育企画は、「市民としての意識と行動力」が向上するための学びの場をつくるNPOです。特に、市民が社会参画していく技能の内、「コミュニケーション力」「協議力（合意形成力）」「マネジメント力」「社会問題発見力」の４つの市民力と、社会参画を支援する力（教育ファシリテーション力）を中心テーマに据えて、講座・ワークショップを実施しています。

任意団体であるシチズンシップ共育企画は、代表者である川中大輔の個人事業として、昨年末に2014年度の会計年度末を迎えました。ここに概要をご報告いたします。

1．14年度事業報告のハイライト

(1) ユースACTプログラムは、段階的なコース展開へ。
(2) 教育ファシリテーター講座、ホットトピックな「ふりかえり」を掲げて実施。
(3) セルフカルチャープログラム、生と死の共育WSは「死にかける体験」がテーマ。
(4) 講師・ファシリテーター派遣（市民教育・協働まちづくり・NPOマネジメント）の件数は98件！
(5) シティズンシップ教育に関係して、共著等の関係書籍が３冊刊行。
(6) 日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF)、本格稼働をスタート！
(7) 財務は自主財源率は向上するも収入が減少し、支出は増加して少額の赤字決算に。

2．14年度事業実施体制

当会では規約に基づき、総会の下に日常的な意思決定機関として運営委員会を設置し、年２回の合宿会議を中心におき、必要に応じた意見交換を年数回の会議を毎年開催しています。運営委員会ではフェローと共に、組織全体のビジョンや各種方針を立て、事業計画案／事業報告案の策定する他、各種事業の進捗状況共有、新規企画の実施承認等を行っています。2014年度は年間を通じて１回の定例会議と２回のリトリート合宿会議を開催し、適宜メール回議にて意思決定を行いました。

執行体制としては、代表が各種事業の責任者となり、プロジェクトごとにボランティアスタッフを募ってチームを編成し、事業推進に取り組んでいます。

〈メンバー一覧〉

・運営委員会　　川中大輔（代表)、大本晋也、小林健司、東末真紀、三浦一郎
　　神野有希、古田雄一、井出大地
・フェロー　　湯浅雄偉、城木信浩、木村智子
・監事　　長尾文雄

・専従職員　　鈴木陵（事務局次長）（3 月まで）
・インターン　　林寛人（臨時職員兼任）（4 月から）
・スタッフ　　井上栞、野田憲太郎、安岡潤也（以上 3 名、3 月まで）、瀧本愼也、岩本清楓、深谷啓介、元原悠貴、今村崇志、石田大智、市川雄基、今村尚路、池田ひかり、堀口真由

3. 14 年度各事業報告

■市民教育事業

(1)ユース ACT プログラム（担当：井上、岩本、瀧本、野田、深谷、元原、安岡、今村崇、石田、市川、今村尚、池田、堀口、井出、城木、川中、鈴木、林）

若者が「まちの跡取り」としての自覚や自信を形成するためには、自らが「まち」をつくる側にまわる経験をしつつ、「まち」の多様な人びととの交わりを得て支えられる中で、「まち」への愛着と信頼を育んでいくプロセスが求められると考え、2008 年度から京都地域において、高校生がまちづくり企画の立案・実施・評価に一貫して取り組む市民教育プログラムとして、「ユース ACT（Active Citizenship Training）プログラム」を実施しています（共催：公益財団法人京都市ユースサービス協会）。

3 月末には、昨年度より「企画コース」と「インターンコース」に分かれて活動している高校生 9 名がその実践を通じた学びと成長を社会発信する「活動報告会 2013」を 3 月 30 日に実施し、30 名方が集いました。

今年度は、これまで取り組んできた各種プログラムを段階的なコースへと再編しました。第 1 段階で、参加高校生は京都地域の NPO に 2 週間ほどに渡ってインターンシップし、世界観を拡張する「NPO インターンコース」に取り組み、第 2 段階で自らの問題意識に基づき、社会問題解決のプロジェクトを企画立案し、その実践に取り組む「プロジェクト企画実践コース」へと進む組立といたしました。その上で、京都市政への提言に発展させる「政策提言コース」をオプショナルコースとして設けました。京都地域の複数の高校から 8 名が参加し、大学生サポーターと共に活動を開始しています。また、参加高校生の募集にあたり、京都地域で活躍されている NPO 等の職員のみなさまをお迎えし、各団体の活動を理解するため説明会を開催いたしました。説明会には下記 7 団体にご参加いただきました。

・参加団体：NPO 法人山科醍醐こどものひろば
NPO 法人京都こどもセンター
認定 NPO 法人テラ・ルネッサンス
京都市北青少年活動センター（京都市ユースサービス協会）
NPO 法人地域環境デザイン研究所 ecotone
京都三条ラジオカフェ（NPO 法人京都コミュニティ放送）
NPO 法人京都コリアン生活センター「エルファ」

なお、「NPO インターンコース」では、以下 3 団体に協力いただき、現場での活動に参加しました。

・受入先：NPO 法人山科醍醐こどものひろば
NPO 法人京都コリアン生活センター「エルファ」
京都市北青少年活動センター（京都市ユースサービス協会）

現在、「企画実践コース」においては、家族や友人に相談できないことを話せる新たな理解者をつくるための居場所づくりや、多文化状況で相互理解を図っていくコミュニケーションについて学ぶ学習の場づくり、国際協力 NGO への寄付キャンペーンなどのテーマを掲げて、企画実施に向けた準備を進めています。

＊本事業は、京都市、京都府教育委員会、京都市教育委員会からご後援をいただいています。

(2)セルフカルチャープログラム（担当：川中）

当会では C.I.「『じぶん』になる、『しみん』になる。」からも明らかな通り、市民教育プログラムにおいて、市民公益活動の担い手としての成長を支援するだけではなく、同時に、一人ひとりが現代社会において自分らしく生きていけるような自己形成等の成長支援も必要だと考えています。そうした、自己の修養と尊重がなされなければ、滅私奉公的な市民教育に陥りかねません。

そこで具体的には、当会では以下の 4 つの視点からワークショップを開発し、実施しています。

①自分に気づく（自分の気持ちや生きかたへの気づき）
②自分を表す（気持ちと考えの表現）
③自分を鍛える（世界観と学び続ける力の鍛錬）
④他者とともに生きる自分を育む（つながりへの気づきと共生の技法の修練）

今年度は、以下の 1 本のワークショップを実施しました。

・10/4　生と死の共育ワークショップ「死にかける→生きなおす」
（共催：青木将幸ファシリテーター事務所）（参加者：8 名）
ファシリテーター：青木将幸さん、川中大輔

なお、継続的に実施している「生と死の共育ワークショップ」については、各人の「市民としての行動」に軸をもたらす上で、自らの人生の意味や目的を見いだす精神的な成長（spiritual grow）が必要不可欠であると考え、重視しています。特に昨今の教育現場では、「いかに働くか」を主題とするキャリア教育が盛んであり、「いかに生きるか」を主題とする教育機会が決して十分ではないとの認識から、2008年度以降は重点事業と位置づけています。15年度も、「対話・仕事・生死」から自己と向き合い、見つめ直すという今年度方針を踏襲し、継続実施していきます。

▷実施報告：http://active-citizen.jp/zisseki/

(3)講師・ファシリテーターの派遣（担当：川中）

学校等の教育機関や自治体、NPO が取り組むシティズンシップ教育のプログラムや子ども・若者の社会参画推進の取組に講師・ファシリテーターを派遣しました。企画運営から関与する教育協働についても取り組み、過年度 ERC（教育リソースセンター）や骨太教員養成プロジェクトで蓄積されたナ

レッジの活用に努めました。今年度は、1 年間で 21 件の派遣を行いました。

（13 年度 4 件←12 年度 5 件←11 年度 12 件←10 年度 3 件←09 年度 4 件）

・1/16　尼崎市教育委員会「社会力育成モデル事業モデル校合同研究発表会」、講師
・2/1　京都市役所「青少年モニター制度」のワークショップ(3)「子育てパパ・ママの不安や悩みを解消するには？～子育て支援のアイデア募集～」のファシリテーター
・2/7　尼崎市役所「『学習する地域』研究会」、「第 2 回研究会」、話題提供
・2/27　国立青少年教育振興機構主催「第 2 回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」、支援者第 1 分科会「コミュニティに学ぶ大学教育の可能性」、助言者
・3/17　京都市役所「青少年モニター制度報告会：青少年からの提案×京都市のこたえ～『若者の声』を市政にどう活かすか？」（受託：NPO 法人ユースビジョン）、ファシリテーター
・3/29　石巻好文館高校生徒会「神戸の高校生生徒会の皆さんとの交流・意見交換会」、ファシリテーター
・4/19　立命館宇治高校「キャリア・サービスラーニング」、第 2 講「ボランティアとは何か？」、講師
・4/21　東洋大学「社会貢献活動入門」、第 3 講「学生は社会貢献から何を得るのか」、講師
・6/3　立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科「社会デザイン特殊研究(6)社会デザイン学への招待」、「公共圏・ネットワーキング・シティズンシップ」、講師
・6/17　尼崎ソーシャル・ドリンクス vol.14「地域の学びで社会を変える」、ゲスト
・6/27　神戸国際大学「市民参加論」、「若者の社会参加の回路」、ゲスト
・7/27　日本ボランティア学会「日本ボランティア学会のこれまでとこれからを語り合うトークセッション『市民知は科学されたのか』」、第二部「車座トーク：日本ボランティア学会のこれからを描く」、ファシリテーター
・8/6-7　尼崎市教育委員会「社会力育成事業 夏季生徒会研修」、講師
・8/25　神戸市立御影中学校「リーダー研修」、講師
・9/4　立命館大学「ユースサービス概論」、「若者とシティズンシップ」、講師
・10/1　尼崎市役所「市政課題研修」、「フィンランドにおける若者の『影響力』を高める社会参加」、講師
・10/10　沖縄県社会福祉協議会主催「ボランティア学習・福祉教育セミナー」、「効果的なふりかえりを考える」、講師
・10/27　京都市役所「青少年モニター制度」（受託：ユースビジョン）、ワークショップ「より効果的な薬物乱用防止啓発活動を行うためには？」、ファシリテーター
・11/26　尼崎市立神崎総合センター主催「人権啓発学習会」、「違いをみとめあい、活かしあう社会へ」、ファシリテーター
・12/10　京都市役所「青少年モニター制度」（受託：ユースビジョン）、ワークショップ「より効果的な薬物乱用防止啓発活動を行うためには？」、ファシリテーター

・12/13　コリア国際学園中等部・高等部「Liberal Arts 科」、「リーダーシップ論」、「アクティブ・シティズンシップを携えていこう！」、講師

また、大学や高校等の学校教育機関において、シティズンシップ教育の視点を踏まえた授業を展開するため、以下の大学等において非常勤講師として講義科目を担当しました。

〈春学期〉
・甲南大学「ボランティア論」
・大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科「非営利ビジネス論」
〈秋学期〉
・同志社大学大学院総合政策科学研究科「コミュニティ・デザイン論研究」（共担）
・大阪樟蔭女子大学大学院人間科学研究科「ボランティア活動論」
・大阪樟蔭女子大学学芸学部「教育社会学」（2 コマ）
〈通年〉
・兵庫県立御影高等学校「GS 人文地理」

(4)新規プログラム開発（担当：川中）

シティズンシップ教育の中核に位置づけられる政治的リテラシーを備えた若者の政治参加を促進するため、NPO 法人 YouthCreate と協働で中等教育段階を対象とする政治教育のパッケージプログラムの開発を行い、モデルプログラムを作成いたしました。今後はこの原案のブラッシュアップを図りながら、試行実践でその効果を確かめた上で、展開へと結びつけて行きます。

また、立命館大学「全学インターンシップ」（BKC）の実習生受入を行い、シティズンシップが涵養されやすい教育環境の指標を設計し、複数自治体間で比較することを通じて、今後の施策方向を提案する「シティズンシップ教育環境調査プロジェクト」に取り組みました（ご協力：尼崎市役所・京都市役所・草津市役所）。

なお、年度計画に掲げた「関西社会デザイン大学院（仮称）」構想については、緊急性と重要性に鑑み、今年度は企画検討を進めませんでした。

(5)日本シティズンシップ教育フォーラム事務局事業（担当：川中、古田、神野、湯浅、鈴木、林）

シティズンシップ教育の関係者が立場を越えてネットワーキングし、ナレッジの共有やグッドプラクティスの掘り起こし、一層の進展に向けたムーブメントの形成を図るため 2013 年に発足いたしました「日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）」の事務局を当会が担っています。J-CEF の総会・運営委員会での決定に基づいた執行を支えており、その活動内容につきましては、以下ウェブサイトをご覧ください。今年度から年間を通じた活動が展開されており、次年度以降に弾みをつけることとなりました。

▷URL：http://jcef.jp/

■ファシリテーター養成事業

(1)教育ファシリテーター講座（担当：川中、大本、東末、林）

学校教育や社会教育において、参加型学習の導入が一般化し、広がっていっています。各種講座や専門書籍の充実など、ファシリテーションの技法を学ぶ機会も飛躍的に増大し、この動きを支えています。当会でも 2006 年度より「教育ファシリテーター講座」を実施し、適切なファシリテーションの技法を習得できる機会を提供しています。

ファシリテーションについて学ぶことのできる資源は増えているものの、状況に応じて手法を使い分ける力や、テクニックを支える「関わり」について学ぶ機会は不足していると言えます。そこで、「人」「技」「状況」を同時に学ぶことのできる環境設定が必要だと考え、今年度は以下の内容での実施としました。

・9/6-7「教育ファシリテーター講座2014 」「『ふりかえり』を究める！」（ゲスト：長尾文雄さん、川島直さん、ファシリテーター：川中大輔、大本晋也、東末真紀）（参加者：25名）

参加型学習の場において、学び手は「参加型の文化」を体得することになり、また、自分の頭で考え、活動と学習を統合していく力を習得することになります。そうした参加型学習の展開と定着、深化を期待し、そのために何が求められているのかを検討した上で、15 年度も継続実施していきます。

▷実施報告：http://active-citizen.jp/report_20140906/

(4)新規プログラム開発（担当：川中）

熟議民主主義を実現するために、参加する市民のファシリテーションシップと論理的／批判的思考力の獲得を促す方法を検討しました。検討されたアイデアを今後のミーティング・ファシリテーターの養成等の機会で活用していきます。

■協働推進事業

(1)神戸市協働と参画のプラットホーム受託事業（担当：川中）

2007 年度から引き続き、神戸市市民参画推進局から「協働と参画のプラットホーム」における「協働コーディネート業務（区分 B)」を受託し、市民参画のまちづくりの推進に取り組みました。

具体的には、パートナーシップ活動助成を中心とする NPO と神戸市の協働コーディネート支援、協働と参画のプラットホームの各種取組に関する共同検討等に加え、庁内における協働取組の実態を把握する調査等に取り組みました。特に当会が力点を入れているのは、「中間支援 NPO と行政の意見交換会」では、協働参画推進施策を市内中間支援 NPO と共に、「神戸市ソーシャルビジネス推進委員会」では、ソーシャルビジネス推進施策を関係する企業団体や金融機関、NPO と共に、その進捗状況をフォローし、評価改善を進める場づくりです。今後もこうした円卓会議形式による「深い参画」を一層推進していきます。

▷URL：http://kobe24.jp/

(2)講師派遣プログラム（担当：川中）

「協働と参画のまちづくり」に係る行政職員研修や、まちづくりワークショップへ講師・ファシリテーターを派遣し、地域問題解決のためにステークホルダーがネットワーキングし、共にその実践にあたる協働型社会の実現支援に取り組みます。今年度は、1 年間で 20 件の派遣を行いました。

（13 年度 14 件←12 年度 20 件←11 年度 16 件←10 年度 27 件←09 年度 15 件）

・2/14　明石市役所「職員研修」、「協働のまちづくり研修会（ワークショップ）」、講師
・5/28　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・6/19　神戸市役所「まちづくり関係職員研修（ベーシッププログラム）」、「地域の人との信頼関係のつくりかた」、講師
・6/30　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・7/11　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・7/30　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・8/2　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・8/7　尼崎市役所主催「学びやすい学校の環境づくり（総合計画キャラバン）」、ファシリテーター
・8/8　兵庫大学主催「大学と地域と連携推進懇談会」、「ワークショップ」、ファシリテーター（全体進行）
・8/11-13　平成 26 年度文部科学省委託事業「学校と地域の協働体制確立に向けたプログラム開発」プロジェクト会議（受託：ノースプロダクション）、ファシリテーター
・9/16-17　奈良市役所「協働のための職員研修」、「ファシリテーション研修（基礎編）」、講師
・9/18　神戸市役所「まちづくり関係職員研修」、「ケーススタディプログラム～実践から学ぶ協働と参画のすすめ方～」、講師
・10/8　中津川市役所「市民協働指針策定委員会」、「第 1 回会議」、ファシリテーター
・10/22　神戸市役所「まちづくり関係職員研修（ステップアッププログラム）」、「信頼関係を築くためのスキル（話し方編）」、講師
・10/23　明石市役所「協働のまちづくり研修」、「現場から学ぶ協働のツボ」、ファシリテーター
・11/12　西宮市役所「参画と協働にかかる研修」、講師
・11/14　中津川市役所「市民協働指針策定委員会」、「第 2 回会議」、ファシリテーター
・11/28　西宮市役所「参画と協働にかかる研修」、講師
・12/15　中津川市役所「市民協働指針策定委員会」、「第 3 回会議」、ファシリテーター

・12/17　明石市役所「協働のまちづくり研修」、「現場から学ぶ協働のツボ」、ファシリテーター

■NPO 支援事業

(1)講師派遣プログラム（担当：川中）

「市民としての行動力」が社会において具体的に発揮されるためには、思いをカタチにしていくマネジメントスキルが必要不可欠となります。そこで、当会代表の川中は当会設立以前の 2001 年より NPO マネジメント講座の講師依頼を積極的に引き受け、当会が設立された 2003 年度以降、全国各地で講座を担当しています。今年度は、1 年間で 57 件の講座へ講師派遣を行いました。下表はご依頼いただいた仕事をテーマ別で分類したものです。

テーマ	件数 （13←12←11←10←09 年度）	テーマ	件数 （13←12←11←10←09 年度）
マネジメント全般	4（6←9←7←7←4）	会議、ファシリテーション	20（17←17←10←9←17）
企画、事業計画	4（4←7←10←7←9）	広報、プレゼンテーション	1（3←3←0←4←0）
ボランティアマネジメント、人材育成	3（2←7←4←1←3）	リーダーシップ、コミュニケーション	11（10←11←16←5←9）
評価、ふりかえり	2（6←4←5←3←2）	ビジョン、理事会運営	8（5←3←0←3←2）
政策提言	0（0←0←0←4←4）	中間支援	0（1←0←1←1←1）
キャリアデザイン	2（2←4←7←6←3）	その他	2（4←5←4←4←4）

15 年度も、従来からの講座プログラムの充実化に加え、近年の増加ニーズに適切に応えられるよう、プログラムの開発を図り、依頼件数の増加を目指します。

・1/17　北和地区商工会広域協議会・大和郡山市商工会主催「大和の商人リーダー塾」、第 5 回「円滑な会議の進め方・情報処理のスキルを身につける」、講師
・1/18-19　国立淡路青少年交流の家主催「AWAJI ミーティング（NPO の未来を考える会）」、「なぜ『あの団体』はピンチを乗り越えられたのか？」、ファシリテーター
・1/22　立教大学法学部「社会運動論」、第 15 回「ソーシャルイノベーションのための志とスキル」、講師
・1/23　BAN-BAN ネットワークスの職員研修「これからの BAN-BAN を考える（2）」、ファシリテーター
・2/4　龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター主催「第 2 回 ボランティア・リーダー養成講座」、「ファシリテーション力をつけよう」、講師
・2/13　BAN-BAN ネットワークスの職員研修「これからの BAN-BAN を考える（3）」のファシリテーター
・2/17-18　同志社大学学生支援センター主催「リーダーズキャンプ 2014」、講師
・2/22　社会福祉法人・学校法人イエス団「ブラッシュアップ職員研修会フォローアップセッション」、講師
・3/1　立命館大学生命科学部・薬学部オリター団「ファシリテーション研修」、講師

・3/13　BAN-BAN ネットワークスの職員研修「これからの BAN-BAN を考える（4)」、ファシリテーター

・3/20　奈良市ボランティアインフォメーションセンター主催「市民公益活動入門講座」、「ファシリテーションを学ぶ！」、講師

・3/21　天隣乳児保育園「職員全体研修」、「2013 年度を評価して、2014 年度の目標をつくろう！」、ファシリテーター

・3/25-26　社会福祉法人・学校法人イエス団「新任職員研修」、講師

・3/27-28　愛隣館「年度末研修」、「2013 年度を評価して、2014 年度の目標をつくろう！」、ファシリテーター

・4/10　BAN-BAN ネットワークスの職員研修「これからの BAN-BAN を考える（5)」、ファシリテーター

・4/17　追手門学院大学「表現コミュニケーション」、第 2 回「なぜ今、ファシリテーションなのか？」、講師

・4/24　追手門学院大学「表現コミュニケーション」、第 3 回「ファシリテーションの技術(1)場づくりをどう『仕込む』か？」、講師

・5/1　追手門学院大学「表現コミュニケーション」、第 4 回「ファシリテーションの技術(2)場をどう促すのか？」、講師

・5/8　追手門学院大学「表現コミュニケーション」、第 5 回「ファシリテーションの技術(3)つくった場をどうふりかえるのか？」、講師

・5/11　NPO 法人あっとすくーる「ビジョン作成ミーティング」、ファシリテーター

・5/18　北海道広尾町主催「ひろお未来塾」、第 9 回「行動する力を身につける(2)：コーディネーション・ファシリテーション編」、講師

・5/21　(公財)コープともしびボランティア振興財団主催「市民活動交流会」、パネルディスカッション「私にとってのサードプレイス」、ファシリテーター

・6/9　宝塚 NPO センター「職員研修」、「『市民のしごと』をつくる」、ファシリテーター

・6/13-14　社会福祉法人・学校法人イエス団「ブラッシュアップ職員研修会」、講師

・6/16　大阪市北区まちづくりセンター主催「北区まちづくり塾」、第 1 回「まちづくりのファシリテーション」、講師

・6/18　神戸地域包括支援センター会「第 1 回研修会」、「地域包括ケア会議の困難事例へのアプローチ」、講師

・6/21　北海道広尾町主催「ひろお未来塾」、第 10 回「行動する力を身につける(3)：コミュニケーション・リーダーシップ編」、講師

・7/3　BAN-BAN ネットワークス「リーダーシップ研修会」、第 3 回「私のリーダーシップをデザインする」、講師

・7/5, 6　石巻復興支援ネットワーク主催「中高生のための会議ファシリテーション講座」、講

師

・7/8　大阪市北区まちづくりセンター主催「北区まちづくり塾」、第４回「事業計画が向上する評価の仕方」、講師

・7/12　西宮市市民交流センター主催「ファシリテーションの力・会議の進め方」、講師

・7/13　ひょうご市民活動協議会主催「ひょうごん NPO 塾・会議の上手なまとめ方」、講師

・7/19　西宮市市民交流センター主催「ファシリテーション・グラフィックを学ぼう」、講師

・7/23　泉大津市主催「にんじんカレッジ（男女共同参画リーダー養成講座)」、第 4 回目「私たちがつくる安心安全なまちづくり」、講師

・8/1　生涯学習サポート兵庫・シミンズシーズ・明石コミュニティ創造協会・シチズンシップ共育企画４団体合同「ファシリテーション勉強会」、「ファシリテーション・グラフィックを学ぼう！」、講師

・8/20　大阪さともり地域協議会主催「私たちの森づくりのこれからを考える」、ファシリテーター

・8/28-30　社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修会ステップ１」、講師

・9/8　立命館大学「広報課夏季研修」、ファシリテーター

・9/14-15　環境再生機構地球環境基金部主催（運営：ねおす、運営協力：北海道市民環境ネットワーク、ezorock)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（北海道ブロック)・ボランティアマネジメント講座」、「基礎研修」、講師・ファシリテーター

・9/19　同志社大学京田辺校地学生支援課「職員研修」、「気づきを促すコミュニケーション」、講師

・9/27　宇山光の子保育園「職員研修」、「私たちのこれからの歩みを考える」、講師

・10/5　大阪市役所「地域公共人材養成プログラム」、「ファシリテーション基礎講座」、講師

・10/19　環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（大阪会場)」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」、「基礎研修（1 日目)」、「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ(1)」、講師・ファシリテーター

・10/24-25　社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修ステップ 2」、「問題解決能力の養成」、講師

・10/26　環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター)「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（滋賀会場)」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」、「基礎研修（1 日目)」、「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ(1)」、講師・ファシリテーター

・11/12　川西市役所まちづくり連続講座「ひと・まちおこしセミナー2014」、第２回「ご近所とのコミュニケーション」、講師

・11/16　NPO 法人あっとすくーる「行動指針をつくろう！」、ファシリテーター

・11/21　京都産業大学ボランティアセンター主催「組織運営ワークショップ」、「ここちよい会議のつくりかた」、講師
・11/22-24　リーダーシップ・トレーニング 14 実行委員会主催「私のリーダーシップをデザインする」、ファシリテーター
・11/26　コープともしびボランティア振興財団主催「『居場所づくり』を考えるワークショップ」、ファシリテーター
・11/27　芦屋市役所「地域のボランティア・コーディネーター講座・参画と協働に関する研修」、「見て共有する会議進行技術を学ぶ」、講師
・11/29　社会福祉法人・学校法人イエス団「リーダーシップ養成研修会ステップ 1」、「フォローアップ研修」、講師
・12/3　環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（滋賀会場）」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」、「基礎研修（5 日目）」、「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ(2)」、講師・ファシリテーター
・12/4　環境再生機構地球環境基金部主催（運営：「環境・持続社会」研究センター）「環境 NGO・NPO レベルアップ実践研修（大阪会場）」「広報・資金調達のマニュアルと組織・プロジェクトの行動計画をつくろう！」、「基礎研修（5 日目）」、「ミッション達成・環境問題解決に向けた NGO リーダーシップ(2)」、講師・ファシリテーター
・12/7　日本歯科衛生士会「九州ブロックリーダー研修会」、「いかにして会員を獲得するか？」、講師
・12/12　伊賀市役所「クローバーカレッジ Ⅳ（女性リーダー養成連続講座）」、ワークショップ「私たちの伊賀市(2)」、講師
・12/18　追手門学院大学「表現コミュニケーション」、「新入生の大学入門を支援する(1)」、講師

▷実施報告：http://active-citizen.jp/zisseki/

(3)外部委員（担当：川中）

NPO の支援活動として、研修・講座のみならず、以下の機関の外部委員として助言指導や政策形成参画等を行いました。

・NPO 法人まちなか研究所わくわく理事
・NPO 法人 BrainHumanity フェロー
・NPO 法人神戸まちづくり研究所理事
・NPO 法人ワカモノヂカラプロジェクト理事
・NPO 法人 CAP センター・JAPAN ネクストステージ委員会委員
・(公財)京都市ユースサービス協会企画委員会委員

・(公財)ひょうごコミュニティ財団理事
・(公財)コープともしびボランティア振興財団運営委員会委員（助成検討委員兼務）
・(一財)大阪府男女共同参画推進財団理事
・尼崎市事務事業点検委員会委員
・京都市青少年活動推進協議会委員
・NPO 法人 CAP センター・JAPAN トレーナーの選考と評価委員会委員（3 月まで）
・京都市未来まちづくり 100 人委員会アドバイザー（3 月まで）
・吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館運営協議会委員（6 月まで）
・兵庫県立兵庫高等学校社会参画推進委員会委員（3 月まで）
・龍谷大学地域公共人材・政策開発システムリサーチセンター研究員（3 月まで）
・「第 2 回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流集会」企画運営委員（3 月まで）

(5)原稿執筆（担当：川中）

シティズンシップ教育や NPO マネジメントに関する原稿で執筆しています。今年度の執筆は以下の通りです。

・川中大輔「市民社会を耕す働き–これからのボランティアコーディネーターに期待される役割」、『ボランティアコーディネーター養成プログラムドキュメントブック 1999-2012』、立命館大学サービスラーニングセンター、pp.43-51
・川中大輔「冒険的なサービスラーニングへ」、「リレーコラム」（研究活動）、立命館大学サービスラーニングセンターウェブサイト
・川中大輔（話し手）・長沼豊（聞き手）「組織をファシリテートするテクニック」、長沼豊『人が集まるボランティア組織をどうつくるのか』、ミネルヴァ書房、pp.160-176
・川中大輔「生と死」、西村仁志編『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』』pp.88-94

4. 14 年度決算のトピックス

■収入の部

(1)講師派遣料収入は大幅増加

当会の事業収入を支える講師派遣料については、前年比約 90 万円増となっていますが、ここ数年は増減の変動を繰り返しており、安定した傾向とは言えません。現在、当会の講師・ファシリテーター派遣の大きな流れとして、シティズンシップ教育や協働まちづくりに関係する依頼も増えてきて、構成割合に変化が見られます。また、NPO マネジメント支援も単発的な集合講座よりも継続的な団体研修が増えており、その関与の仕方にも変化が見られます。こうしたニーズの変化に対応できるよう、当会に期待されている専門性に磨きをかけていくことが安定した収入確保のために求められます。

また、行政や学校機関等の厳しい財政状況の下では難しいことですが、単価の適正化については依然として課題として残っており、品質管理を徹底した上で、今後も適正価格での派遣を目指した交渉

に努める必要があります。

(2)主催事業収入は大幅減少

主催事業については、前年比約 65 万円減となっています。これは昨年度、教育ファシリテーター講座の実施期間が長かったことや、設立 10 周年記念事業が催されたことで、一時的な増加があったためであり、今年度は例年通りの規模に適正化されたと言えます。主催事業については、事業ごとに利益に関する考えを整理し、収益を目指す既存事業では利益率が向上するように収支の見合いを管理していきます。

(3)委託事業収入も意図的に減少

委託事業収入については、前年比約 60 万円減となっています。2011 年度から段階的に委託事業収入を減少させており、こうした結果となっています。当会は財務規律目標として、事業収入に占める委託事業収入の割合を 30%以下であることを目標にしていますが、今年度は 15.9%（前年度 20.8%）となり、その目標を維持ししました。委託事業収入については、財務規律目標を意識して、依存率を高めないように留意しつつも、行政との協働の社会的意義に鑑み、必要に応じて受託も進めます。

■支出の部

今年度の管理費支出においては、全体として約 295 万円の大幅な増加が見られ、特に「給料手当（前年比約 110 万円増）」「旅費交通費（前年比約 90 万円増）」「新聞図書費（前年比約 30 万円増）」で大きな増額が確認できます。給料手当や旅費交通費の支出増は、代表が専従職員に復帰したことに起因していますが、その給与は決して多額とは言えず、また旅費交通費も業務上当然に生じるものであり、いずれも適正と考えます。新聞図書費については、不要不急の購入を抑制し、支出管理していく必要があります。

事業支出としては、全体として約 120 万円の大幅な減少が見られ、特に「謝金（前年比約 45 万円減）」「施設使用料（前年比約 50 万円減）」「消耗品費（前年比約 25 万円減）」で大きな減額が確認できます。しかし、これらは教育ファシリテーター講座の規模を例年通りに戻したことや、前年度に行われた設立 10 周年記念事業の膨らみがなくなったことによります。

収入額が減じる傾向が見られる中、管理費支出を中心に 15 年度についても支出精査にあたり、経費削減努力を進めます。

■全体を踏まえて

今年度は当期差益で約 17 万円の赤字を生み出しましたが、繰越金は約 1040 万円で、有事の際に持ちこたえられる財務体力として目標としている内部留保 1000 万円を維持できました。財務全体を見渡せば、事業開発とプロモーションによる収入向上、経費削減による支出抑制によって黒字回復も

可能な状態であり、15 年度は黒字決算を目指して、経営安定化を目指します。

なお、内部留保については、事業開発等のために取り崩す際にも 500 万円を最低維持ラインとし、今後も規律ある財務運営を継続するようにいたします。

おわりに

2013 年度、当会が関わったプログラムは 107 件（前年比 2 件減）となりました。件数としては、ほぼ横ばいで、今年度も量的には一定規模を維持することができました。非常に多くの方々に支えられていることを覚え、この場をお借りして御礼申しあげます。しかし、最も件数が大きかった年度に比べれば、まだ事業遂行力に余地があり、一層の充実を目指していく必要があります。

折しも、中学校における「道徳」の教科化や、高校における新科目「公共」の設置検討、18 歳選挙権年齢の引き下げなど、子ども・若者のシティズンシップ教育への関心は大きな高まりを見せようとしています。この機運の高まりを活かすためにも、当会はしっかりと地に足をつけて、若者の社会参画推進を図る取組をカタチにして社会発信していきます。自治体や学校機関との教育協働にも努め、モデルとなりうる事業の創出を目指します。

また、当会での実践のみならず、2013 年に設立されました日本シティズンシップ教育フォーラム（J-CEF）というプラットホームを支えて育て、垣根を越えた経験交流と学習交換の場として整え、ナショナルなレベルで意味ある実践の流通を促すようにも努めていきます。

民主的な社会変革の実現にあたって、シティズンシップ教育が重要な役割を担うと当会は考えています。創造的市民社会の成熟と発展に向けて、私たちに課せられているその社会的責任を自覚し、その責任に応答していけるよう、今後もスタッフ一同邁進してまいります。引き続き、関係各位の多大なるご協力とご指導を賜りますよう、お願い申しあげます。

シチズンシップ共育企画

代表　川中 大輔